



創立55周年記念

# 日本いけばな芸術九州展

## 出品流派(順不同)

池坊 池坊佳月式 いけばな京花傳 一葉式いけばな 小原流 花芸安達流 華道高野山 桑原専慶流 広山流  
宏道流(望月) 古流松藤会 嵯峨御流 新池坊 真生流 新生流 青蘭流 専慶流 草月流 草真流 知香流  
未生流 未生流(庵家) 未生流中山文甫会 都未生流 大和池坊 龍生派

## いけばな

日本の伝統文化のひとつとして、世界中で楽しまれている「いけばな」。それはどのように生まれ、現在のような形になったのでしょうか。

私たちの祖先は、自然の偉大さにおそれながらも敬いの心を持ち、草木と共に生きるという、独自の考えを持っていました。飛鳥時代に仏教が日本に伝えられると、仏に花を供える風習「供花 -くげ-」がもたらされ、やがて室内に花が飾られるようになりました。

その後、室町時代からの建築空間の移り変わりとともに、花を飾る花器や花留めが現れ、芸術性を高めていったのです。以来、500年の間に「いけばな」は、さまざまな形で花と向き合ってきました。その長い年月には、余分な要素を取り去ることで、花の持つ美しさや個性を最大限にいかして表現しようとする、日本人の美意識があります。四季の移ろいははっきりとした日本だからこそ、自然の美しさや力強さを作品の中に表す「いけばな」が生まれたのでしょう。

ぜひ、作品をご覧ください、あふれる花の力、そして花の命と触れ合うことで、その美しさや重みを感じてください。



2019年撮影

## 「6月6日いけばなの日」ロゴマーク

古来より芸道の上達を記念し、稽古始めは6歳6月6日が良いと言われてきました。この6月6日には、世阿弥の「風姿花伝」の中に「稽古始めは6歳ころが望ましい」とあること、歌舞伎の台詞に「6歳の6月6日」とあり語呂合わせがいいこと、指で数える時に「6」で小指が立ち「子が立つ」ということなど諸説ございます。各地域においても、6月6日前後の日程で、いけばな体験教室や展覧会などを開催しております。

「6月6日いけばなの日」を制定し、いけばな普及の全国的な展開をしております。



## 基本形デザイン

花器にいけられた2輪の花と葉が6月6日の2つの「6」の形になっています。花器の中にロゴを組み込んで、全体的にやわらかく明るい色使いで親しみやすいデザインです。

公益財団法人日本いけばな芸術協会



Webサイト



Facebook

創立55周年記念

## 日本いけばな芸術九州展

本券を入場券売場にお出ください。1枚につき1名様まで値引きします。  
入場料(税込) 一般・大学生 800円→700円 高校生以下無料

前期:4月13日(水)~15日(金) 後期:4月16日(土)~18日(月)

午前10時~午後7時 15日(金)、18日(月)は、午後4時閉場。(最終入場は各日閉場の30分前まで)

入場料  
割引券

創立55周年記念

## 日本いけばな芸術九州展

本券を入場券売場にお出ください。1枚につき1名様まで値引きします。  
入場料(税込) 一般・大学生 800円→700円 高校生以下無料

前期:4月13日(水)~15日(金) 後期:4月16日(土)~18日(月)

午前10時~午後7時 15日(金)、18日(月)は、午後4時閉場。(最終入場は各日閉場の30分前まで)

入場料  
割引券